



庁内改革を進めていきます



山崎泰昌議員

人事管理

談合問題の責任について

給与の減額を行う

質問

町職員を対象にしたアンケート調査で、「ここ数年、価格示唆に係った職員はいない」とあったが、事実と全く違うのでは。

佐々木総務課長

職員の中には警察の事情聴取を受けた者も何名かい

るので、正直に答えるよう促したが、元会計管理者のほかに金銭を受け取っていた職員がいることは把握できなかつた。

質問

元会計管理者が事情聴取を受ける可能性があることを知りながら、議会に報告

町の考えを聞く

をしなかつたのはなぜか。

沼崎町長

元職員から聞いた話において、金銭の授受もないし職務権限もなかつたので公表しなかつた。故意に隠そうとしたのではない。

質問

新聞2社の報道において、町長の説明責任や副町長への事件に関する口止めの記事があるが、事実なのか。

沼崎町長

説明責任については、結果を見れば責められる部分もあるが、それを否定するものではない。口止めについては、そのような事実はない。

質問

町長に就任してから10年間、談合はないと発言していたが、事実は違っていた。12月10日までは談合事件は決着がついたかと感じていたが、12月11日の新聞で新たな事実が出てきた。町長の任命責任のほかにも管理

責任、管理能力にまでも問題が広がっていると思うが。

沼崎町長

私の責任は重いと思っっている。本定例会で私に対する厳しい処分を審議していただく。

質問

談合事件において、町職員の大部分がうわさも聞いていないので驚いているということ、一般町民との認識の違いがあるのでないか。最低限「不正行為再発防止対策委員会」「懲罰検討委員会」には議員も参加するべきでは。

沼崎町長

不正行為再発防止対策委員会は、事件に早急な対応をするために立ち上げたもので、議員にはほかの場面で協議を行ってもらう。

「職員分限懲戒審査委員会」は、現在、審査の公平公正を保つため厳格な措置を取っている。今までの対応としたい。